

## 事業報告

昭和 26 年に「納税道義の高揚・税知識の普及啓蒙」を旗印に北区法人会として誕生し、昭和 40 年には社団法人としての認可を受け、先達から脈々と受け継がれた王子法人会は、創立 60 周年・社団化 45 周年を迎え、10 月 22 日に記念式典、記念講演会ならびに祝賀会をつつがなく挙行することができました。これもひとえに会員企業、関係諸団体の皆様方のご協力とご理解のおかげと感謝申し上げます。

奇しくも本年、45 年前に先達が社団化に向けて努力をされたように、現在私たちは会員のための法人会から、広く社会に目を向けて、60 年を契機に原点へ立ち戻り、会員企業と地域に根差した法人会として公益法人化に向かって新たに歩き始めました。

### 1. 「新しい法人会づくり」の推進

#### 1) 新公益法人制度へのスタートに伴い

公益法人・一般社団と王子法人会がどの道を選択するか、そしてそれに向かって皆が一丸となって進めていくために役員を中心としたセミナーを開催すると同時に都内単位法人会との連絡を密にとり情報収集に努め公益法人を目指すための準備を進め理事会において、ペリジョンソンコンサルタントとのコンサル契約を結ぶ事を決議し、公益法人化を目指すことになりました。

#### 2) 税制、社会・経済システムの変更に關して

23 年度の税制改正とりわけ法人所得課税関係についての周知のための研修会を行いました。

#### 3) 研修活動を通じて、会員になって良かったという運営について

昨年引き続き、事業承継に関するセミナーや社会保険労務士による様々な助成金に対する情報やセミナー、研修会等を積極的に行いました。更に厚生委員会が積極的に取り組んだのが AED 講習会で、「知っていれば救える命もあったかもしれない…」最近ではあちこちで見受けられる AED（自動体外式除細動器）の使い方と対処法などを地元消防署の協力を得て王子・赤羽・滝野川地区でそれぞれに開催できました。創立 60 周年の特別記念講演会として王子に縁の深い日本経済の父と言われた「渋沢栄一」を地元渋沢栄一資料館の井上館長に語っていただきました。会員だけでなく一般の参加希望も多く、立ち見となる大盛況となりました。

### 2. 財政基盤の確立

基盤となる会費においては、会員増強に地元金融機関等の多大な協力により、急激な減少は避けることが出来ました。しかし入会に対して退会が上回るという現象は現在も続き、会費減収はさらに続く傾向にあります。それに加え旧郵便局の簡易保険の取り扱い手数料も満期・中途解約などにより、更に減少傾向にあるのが現状で、福利厚生制度の推進による補助金等や法人会だより、ホームページにおける広告収入、当会独自の自動車購入紹介制度等、様々な方法により収入を求めていましたが、更に歯止めとなる収入基盤を模索検討中です。

### 3. 組織の充実と強化

独自の増強運動と地元金融機関の協力により、厳しい社会・経済情勢の中においても会員数の大幅な減少傾向を免れることができました。

#### 1) 「新設法人説明会」で法人会 P R を行うなど地道な活動を展開するとともに新設法人情報をリアルタイムに支部に提供することで、増強期間のみならず常日頃からの各支部の組織作り

の意識が高まりました。

- 2) 増強運動において日々の活動を通して、各地区ごとにそれぞれの方法や考え方を持ち寄り増強に対する意識やモチベーションの向上やとらえ方等について活力を生み出すべく意見交換会を行いました。
- 3) 地元金融機関の協力により入会された新会員に対しても、同じ仲間として各支部総会、研修会等支部活動に積極的に呼びかけ、参加してもらうことを心がけ更なる仲間作りをはかりました。

#### **4. 福利厚生制度の拡充**

各種福利厚生制度は財政基盤面においても重要な位置を占めているが、会員企業存続や従業員雇用面においても重要不可欠なもので、組織委員会、厚生委員会の協力のもと会員増強運動と大型保障制度の普及推進を図るべく、相互の連携を一層強固なものにするべく組織委員会と連携して連絡協議会を開催いたしました。

#### **5. 事業活動の充実**

##### 1) 研修活動

- ① 講演会・セミナーを中心とする本部研修会の充実に努めました。
- ② 支部独自の研修会だけでなく合同の研修会を企画することで、多くの参加者を迎えて開催することが出来、支部活動の活性化を図りました。

##### 2) 税制関連事業

- ① 平成22年度税制改正においては法人会だよりでの広報のほか特に事業承継をテーマに様々な角度から事業承継考えるセミナーを開催いたしました。
- ② 税に対する提言や、その実現のための要望活動を上部団体と連携し推進・陳情を行いました。

##### 3) 広報活動

よりよい広報誌作りを心がけ、クローズアップカンパニー、北区を食べる等での会員紹介の他に無料広告掲載スペースの「会員から買いましょう」を積極的に展開しました。更にはホームページでの広報活動も行うとともに当会の広報のみならずe-Taxの推進も行った。

##### 4) 福利厚生活動

異業種交流の一環として、日帰りバスハイクの開催や桜の名所としても名高い当会ならではの「桜ウォーク」は毎年の恒例の行事として定着し、多くの人が参加しています。雇用対策セミナー等における助成金や労務管理等について勉強会も行いました。

#### **6. 運営体制の整備**

- 1) 公益法人に向けて、運営体制の見直しを図るためにも報告・提出等の書類の統一化と運用の実施を心掛け、体制整備を行いました。
- 2) 王子法人会は、公益化に向け会員のみならず、広く地域に向けて情報発信をして行くことが必須です。その手段として、ホームページは必要不可欠なアイテムであり、法人会としては会員企業を広く紹介する目的も含めて、従来『会員から買いましょう』として展開してきた会員ネットワークの検索機能を広く一般に利用できるよう、業種検索、駅名検索等を付加して、一般にも広く活用できるシステムにするべく検討協議を重ねました。情報の発信源、利用しやすいホームページとして総務、広報、IT推進の各委員会協議の下、内容充実に向け努力いたしました。

#### **7. e-Tax・eLTAXの対応体制**

法人会だよりでは、e-Tax を利用することのメリットや実際の経理担当者の体験記の掲載。ホームペー

ジトップページバナーでの e-Tax 推進や、確定申告時の国税庁 e-Tax サイトへのリンクなどによる PR に加え、パソコン等に精通していなくても e-Tax が行える税理士による「代理送信」の紹介を積極的に行いました。更には地方税に関する eLTAX の周知も行いました。

## **8. 地域社会に対する貢献活動**

公益法人会に向けても、地域と密着した諸事業が多くを占めるようになりました。当会は、例年にも増して積極的な姿勢で取り組んできたが、例年行っている女性部会の各地域での盆踊りへの参加をはじめ、青年部会の租税教室は年を追うごとに楽しいイベントとして地元の子供たちに定着しています。初めての試みとして女性部会が行った小学生を対象とした「税に関する絵はがきコンクール」には、北区立の小学校より 366 枚という応募があり、審査の結果入選作品が選ばれ創立60周年の記念式典で表彰式を行いました。応募作品すべてを北とぴあ ギャラリー遊、王子税務署、北都税事務所、北区、王子カルチャーロードと、述べ3か月間にわたり展示し、関係者だけでなく、学校を始めとして子供達や保護者、一般区民にも見てもらうことが出来ました。これらの一連の事業は、納税意識の向上を図るという、法人会本来の目的でもあり、法人会ならではの社会貢献活動となりました。